

へるす・りさーち No.51

名古屋市衛生研究所

若者から高齢者まで結核に注意しよう！

～咳や熱が長引いたら、すぐに医療機関で診てもらいましょう～

名古屋市にある某大学では経済学部4年生のケン太くんと医学部4年生のエイ子さんの2人が、ある夏の日に大学の図書館の談話室で休憩しています。そこに、2人の知り合いで、同じ大学の先輩、仕事は名古屋市の保健センターで公衆衛生医師をしているDr.Kさんが加わりました。ちょっと3人の会話に耳を傾けてみましょう。

ケン太くん 僕のおじいちゃんがさ、最近1週間以上ごはんが食べられなくて、咳と微熱も続いていたので、病院に連れて行って見たら、肺結核と診断されたんだ。肺結核ってどんな病気なの。



エイ子さん 肺結核は長引く咳と、ダラダラ続く微熱が症状として特徴的ね。他に痰や全身の倦怠感が出ることもあるわ。一般的に結核は、肺に菌が広がる肺結核のことを指すことが多いけれど、腸（「腸結核」）や骨（「骨結核」）など、ほぼ全身のどこにでも発病するの。

ケン太くん へえ、そうなんだね。でも、どうしておじいちゃんが肺結核にかかったのかな。

エイ子さん 結核菌は空気の流れに乗って空気感染するので、患者さんが排出した菌を吸い込むことで感染するんですよ。

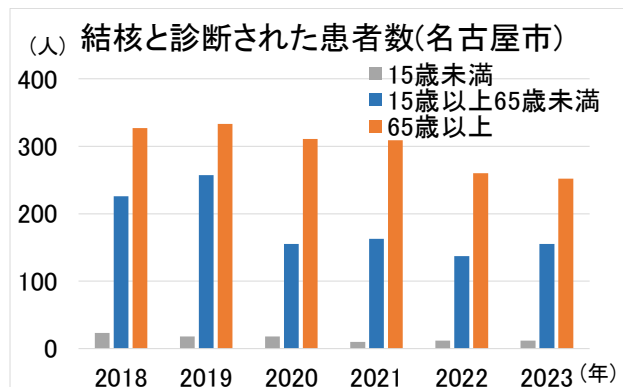
Dr.K そうね。結核菌を吸い込んだ場合、約30%の人が感染すると言われてるわね。ただ、感染しても全員が発病するとは限らないし、すぐに発病するわけではないの。実際に発病するのは1割～2割程度。感染してから数か月～2年後が多いわ。



ケン太くん ということは、おじいちゃんは数か月～2年前に結核菌を吸い込んで感染したということですか。

Dr.K その可能性もあるけど、ケン太くんのおじいさまがまだお若かった数十年前は日本で結核患者数が多く、結核菌が蔓延していたのね。若い時に結核菌に感染したけど免疫力があるため発病せず、高齢になってから免疫力が落ちて発病して見つかるケースが多いとされているわね。ケン太くんのおじいさまもそのケースかもしれないわね。

エイ子さん 確かに、患者の年齢層で言うと、下のグラフのように、15歳以上65歳未満の患者も毎年一定数いるけど、65歳以上の患者は毎年200人以上いて、高齢の結核患者が多いんですね。



出典：厚生労働省 感染症サーベイランスシステムのデータを使用

Dr.K 日本の結核患者数はこの数十年で改善したけど、まだ結核に悩まされている高齢者は多いわね。

ケン太くん なるほど。そういえば、保健センターの方から、僕たち同居の家族も肺結核の検査を受けるように言われたんだけど、いったいどうしてだろう。

Dr.K 患者さんであるおじいさまの咳に含まれている結核菌を吸い込んでケン太くんと他のご家族が感染する可能性があるからなのよ。結核患者の同居の家族や職場の方などに保健センターが行う結核検査は、**接触**

者健診と呼ばれているわ。検査には次のようなものがあるわね。

胸部エックス線検査

- ・結核を発病しているかどうかをみる検査。
- ・早期発見に役立つ。

血液検査

- ・IGRA検査という結核に感染しているか確認する検査。
- ・従来のツベルクリン反応検査と比べて精度が高い。

検査の結果、感染が分かった場合、薬を1種類・6か月間内服することになるわね。また、最近は薬を2種類・4か月間に期間を短縮する飲み方もできるようになったの。まずはご自身やご家族、周囲の方のためにもきちんと接触者健診を受けてね。

ケン太くん わかりました。検査を受けてきます。

ケン太くんが検査を受けた後、3人が再び集まって話しています。ケン太くんとおじさまの結核はどうなったのでしょうか。

ケン太くん 保健センターで接触者健診を受けてきたよ。僕も含めて家族数人が感染していたので、昨日病院で潜在性結核感染症と診断されて、薬を6か月間内服することになったよ。

潜在性結核感染症

- ・結核菌に感染しているが発病していない状態。
- ・感染した人のうちの約90%が潜在性結核感染症である。

Dr. K 保健センターの方や病院の方と相談しながら、ちゃんと飲み忘れないようにしてね。

ケン太くん わかりました。ところで、おじいちゃんが飲む薬と僕たちが飲む薬は同じですか。

Dr. K ケン太くんが内服している1種類の薬は、おじいさまも内服しているわ。でも、おじいさまは発病しているの、その1種類に加えて数種類の薬を飲んでいるの。

ケン太くん そうなんですね。おじいちゃんは症状が治ったら、もう薬は飲まなくてもいいのかな。

Dr. K いいえ。症状が治まっただけでは内服をやめて

はいけないのよ。結核の薬は6か月間～9か月間の決まった期間を飲み続けないと、薬が効かない結核菌（耐性菌）が発生する恐れがあるのよ。

ケン太くん 医師から治療は終了と言われるまで飲み続けなければならないということですね。

エイ子さん 毎日しっかりお薬を飲み続けて、咳・発熱・痰などの症状が早く良くなるといいですね。

Dr. K 結核は治療せず放置すると発病後5年で半数が死亡してしまう恐ろしい病気なの。免疫力を高めるために、普段から食事・運動などを含めて健康管理を行うことが重要だわ。また、もし感染してしまったとしても、早めに診断して治療することで、周囲の人への感染拡大も抑えることができるわね。名古屋市では、40歳以上の方を対象に肺がん・結核検診を行っているわ。

名古屋市の肺がん・結核検診

【対象者】40歳以上

【実施回数】1年に1回

【検診内容】問診、胸部エックス線検査

【検診料（自己負担金）※】500円

※70歳以上の方、市民税非課税世帯等の方は免除制度あり

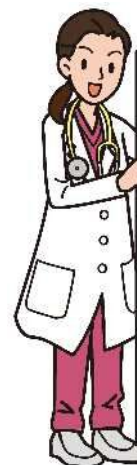
※40歳～60歳まで5歳毎の年齢の市民に無料クーポン券配付

詳しくは名古屋市公式ウェブサイトをご確認ください。



肺結核以外の様々な病気の可能性も考えられるから、咳と微熱・倦怠感などが続いたら、早めに近くの医療機関で診てもらおうと良いわ。

ケン太くん 勉強になりました。今日聞いたことを家族のみんなにも伝えておきます。ありがとうございました。



40歳以上の方は定期的に結核検診を受けましょう。

